



須田っ子 第1号外号

学校教育目標「すすんで心や体をすこやかにする子」 SA・SU・GA・DA

ありがとうございました 「卒業証書授与式」から
(平成三十一年三月二十五日)



卒業おめでとう

校長 内山 晋

三月二十五日、卒業証書授与式を挙行いたしました。卒業生二十一名が無事六ヶ年の課程を修了したことを報告いたします。

以下、式辞(要約)を掲載させていただきます。

式辞(一部掲載)

(前略)みなさんにとって、この六年間の物語でどんな場面が、まず目に浮かびますか。不安と期待をいっぱい詰め込んで門をくぐった入学式、それとも、見えない緊張感で包まれ胸を締め付けられた親善陸上大会や市内音楽発表会でしようか。ドキドキの後の達成感、それとも、思い通りにならないばかりかピンチに陥った時のハラハラ感でしょうか。その一つ一つの場面は、きつと、これからの物語の伏線となつて生きてきます。

中学校では、大人に感じる先輩を前に、これまでとは違ったキャラクターを感じる登場人物も現れることでしょう。春のように温かく抱ぶ心の持ち主に助けられ、夏のように強く撓わぬ心の持ち主には熱く感動して、秋のように

冷静に物事を受け止める心の持ち主からは、多様な考えの素晴らしさを学び、そして、冬のように「ならぬことはならぬ」と厳しい心の持ち主には、自分の足元を見つめ直すことの大切さを感じとるでしょう。

相手の考えを受け止め、対話を楽しみながら、先にある大きなクライマックス場面を一緒に作り上げ、あなたの物語を豊かなものにしていくてください。

みなさんに贈った言葉「閃」は、「動きながら閃く」という意味です。やりながらいいと思ったことを取り入れていくということですね。みなさんの前には、通り抜けなければならぬ門が次々に現れると思います。勇気を出して門を空け挑戦してください。

新しい門を開き、自分に挑戦し続けてください。みなさんの心の中にある、美しい須田の原風景を大切に、あなたの色の花を咲かせてください。

閃閃の二十一名の卒業生の輝かしい未来を祈念いたします。

おめでとうございます

※「閃閃」(せんせん)

